

平成26年度 第1回 行政改革推進委員会てん末

1. 日 時

平成26年9月19日（金） 午後1時30分から午後4時50分

2. 会 場

上湧別コミュニティセンター 2階大会議室

3. 出席者

委員：石渡会長、北村職務代理者、小関・出口・後藤・小林・篠田・馬場各委員
（欠席：朝日、町元）

町 長：高山・山田・水野・山本各課長、星補佐、大口係長、大西主任

4. 配布資料

- (1) 第1回行政改革推進委員会議案
- (2) 湧別町行政改革実施計画の推進状況
- (3) 行政改革推進委員会の附帯意見に対する町の考え方
- (4) 行政改革推進本部副町長会議ほか会議顛末書

5. 会議顛末

(1) 開会（高山課長）

(2) 会長あいさつ（石渡会長）

(3) 協議事項

1. 行政改革実施計画書の点検評価について

※資料に基づき、大口係長説明（説明終了後休憩 14:20～14:25）

【主な意見】

- 個人情報の保護について、地域の高齢化が進む中、自治会や民生委員は救急車の搬送情報などを把握したいと思うものの、病院に連絡しても教えてもらえないことがあります。地域を守っていく上で、必要な情報を提供していただく仕組みがあるとよいと思います。
- 過疎化が進む中、地域のことは地域で守るという考えがある半面、国の政策として個人の情報は守るということに矛盾を感じます。特区のような形で法を緩和して、地域が必要とする情報を地域で共有できる仕組みを検討できないのかと思います。
- 屯田まつりと七夕まつりが一つのお祭りになりました。来年以降も継続されることになるとは思いますが、更なる内容の充実と予算確保に努め、町外からも集

客を図るなど、町の主要なイベントとなるようにしてほしいと思います。

- 指定管理者制度について、しっかりと方針を検討してほしいと思います。経費は削減できたと思いますが、管理すべてを指定管理者に丸投げしているため、利用しづらいという声をよく耳にします。本来の施設の目的に沿った施設を目指し、更新時の契約条項等を整理してほしいです。
- 経費の節減という視点だけではなく、医療、介護、子育てのあり方など今後行政経費が膨らむ分野も考える必要があり、分野ごとに精査をしていく必要があると思います。
- 公共施設のLED化はいつ実施するのが得なのでしょう。更新時となるとまだ先になると思いますが、イニシャルコストとランニングコストの両方を加味して検討していく必要があると思います。
- 職員提案制度については実績が少ないようですが、提案しづらい雰囲気があるのではないのでしょうか。テーマや制度を示すなどして、提案が出やすい工夫をするとよいと思います。
- 町を挙げて実施する100kmマラソンやクロスカントリースキー大会に参加する職員に対し、翌日に休暇を与えることで参加意識の向上につながると思いますし、良い発想を生む機会にもつながると思います。
- 町所有の職員住宅や教員住宅で長く空き家になっているものがあります。入居が無理なような古い建物もあると思うので、処分することも検討するべきだと思います。
- 中湧別南団地は未だ売れていない状況だと思います。優遇措置の創設や転用も視野に入れるべきだと思います。
- 有料ゴミ袋は広域で作成したらよいと思います。町外でも買えれば利用者の利便性は向上するし、作成経費も節約できると思います。

2. 行政改革推進委員会の付帯意見に対する町の考え方について

※資料に基づき、大口係長説明

- 委員の公募について、わかりやすくやる気の出るような表現で募集するべきだと思います。
- 公募以外の委員もシャッフルすべきだと思います。同じ人が多くの委員になっていると思います。多くの人にどんどんお願いするべきだと思います。

- 委員の構成は制約もあり、委員がかわりづらい面もあると思います。
- 小学校統合について、学校統合した地域からすると生ぬるい表現に感じます。
- 小規模校は良い教育を実践している事例があります。それを失くすのはもったいないという意見があるのはわかります。しかし、父兄は統合してほしいという意見を持っている方が多いようです。地域の長老の学校を残したいという考えではなく、子どもにとって何がよいのかという視点が重要と思います。
- 総合支所は必要ないと思います。出張所でもよいと思います。事務所スペースの問題など、すぐには難しいかもしれませんが、職員が減っていくので一緒になればよいと思います。芭露方面の住民は中湧別出張所を使う人も多くいます。大幅な節減につながると思います。
- 総合支所がなくなっても住民サービスの面では支障ないと思います。合併後、湧別方面で車や人の流れが減ったという声もあり、経済面や生活面の影響が心配されます。
- リラ街道の管理状況が合併前に比べて悪くなった気がします。リラや桜は枯れていたり、雑草が茂っていたりという状況です。大臣表彰まで頂いたのに寂しく感じます。これが過疎化の現実なのかと感じてしまいます。住みやすい明るい街を目指し環境整備していただければ、合併して寂れたという声も聞こえなくなると思います。
- 公共施設の管理運営について、ずっと今後検討するとなっています。検討していないのではないのでしょうか。事例を組織に示し行政が支援することで、やれる気がします。

3. 第2回行政改革推進委員会の開催について

- 特に審議案件がないため、開催しないことに決定。
- 結果の報告については、委員長、職務代理者に一任することを決定。

4. その他

- 委員の任期が平成27年3月末までであり、今回が最後の会議となる見込みであるため、委員長より挨拶。

午後4時50分 閉会

以上